

## 令和5年度尾張旭市一般会計歳入歳出決算認定について

### 討論要旨 川村つよし議員

地球温暖化対策、物価高騰対策にどのように取り組まれたのか、決算を見る上で視点の一つです。

まず、お礼も申し上げておきたいのは、小中学校や保育園の賄い材料費への補助です。合計で、5,800万円程度の事業費で、給食の質を維持したまま、保護者負担の値上げを防いでいただきました。

給食費の値上げは絶対だめです。市単独でも学校給食費の無償化を目指し、来年度に向けて検討するように、そして少なくとも、給食の質を保った上で保護者負担を増やさないように求めておきます。

次に、防犯灯LED化推進補助金、省エネ設備更新補助金、省エネ家電買換促進事業費補助金の3つは、地球温暖化対策にも関係する事業としても評価できます。

一方、地球温暖化対策としては、全く不十分な取組としか思えず、市議会から様々な提案があっても、一顧だにせず、空調設備の増加で温室効果ガス排出量の増加に見合う対策が見えないのは、批判点として繰り返しの指摘をしておきます。

市営バスあさび一号の年末試験運行がようやく実施されました。今年の年末も実施の予定です。さらなる公共交通の充実を期待します。よろしくお願いいたします。

おくやみ手続き支援が実施されました。ありがとうございました。ヤングケアラーへの支援策について、実態調査方法の検討が行われました。引き続き、具体的な支援策の実現をお願いします。ファミリーシップ制度が導入されました。ありがとうございました。

次に、反対理由、批判点です。

既に、地球温暖化対策が不十分であることは言いましたが、それに加え、年度途中で追加した批判点が、ラーケーションの実施です。深刻な教員不足が生じている状態なのに、さらに学校現場に仕事を増やしていることになり、問題があります。

追加した批判点の2つ目は、会計年度任用職員の待遇に関わる問題で、給与改定が4月遡及されなかった話です。

次に、当初予算編成時から指摘していることですが、三郷駅前再開発について、費用負担が大きく、総額はまだ明らかになっていません。総務分科会では、新規事業に手を出しづらくなっている状況が説明されましたが、三郷駅前再開発事業が、その一因であることも間違いありません。

次に、国保の繰入れについてです。国保の構造上の問題は議会内で指摘

してきたつもりです。以前にも増して、被保険者は負担能力の低い人達の構成比が高くなり、そこからさらに課税強化しようという話になりかねません。手厚い減免措置を講じ、市民への実質的な負担を回避するように、強く求め、反対討論といたします。